

令和8年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

令和8年2月13日

上場会社名 中日本興業株式会社

上場取引所 名

コード番号 9643

URL <http://www.nakanihonkogyo.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 服部 徹

問合せ先責任者(役職名) 取締役 感動創造支援本部本部長

(氏名) 加藤 康章 (TEL) (052) 551-0274

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和8年3月期第3四半期の業績(令和7年4月1日～令和7年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		
8年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
7年3月期第3四半期	3,244	29.4	229	—	254	—	209	—	
	2,507	△6.0	△75	—	△54	—	△63	—	
1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益							
8年3月期第3四半期	円 銭		円 銭		円 銭		円 銭		
7年3月期第3四半期	394.32		—		—		—		

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
8年3月期第3四半期	百万円		百万円		%	
7年3月期	5,953		3,625		60.9	
	5,206		3,187		61.2	

(参考) 自己資本 8年3月期第3四半期 3,625百万円 7年3月期 3,187百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
7年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
8年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
8年3月期(予想)		30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和8年3月期の業績予想(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
	3,850	14.4	80	—	90	—	70	—	131.93	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

8年3月期3Q	540,000株	7年3月期	540,000株
8年3月期3Q	9,443株	7年3月期	9,443株
8年3月期3Q	530,557株	7年3月期3Q	530,568株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより景気は緩やかな回復基調となりました。その一方で、不安定な国際情勢に伴う原材料価格・エネルギーコストの高騰や物価上昇等の影響により、個人消費は伸び悩み、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社は、多くの皆様方にご愛顧いただき、11月1日に営業開始70年を迎えるにあたり、これにお応えすべく、お客様が楽しんでいただけるようサービスの一層の向上を図るため、挑戦してまいりました。

その結果、売上高は32億44百万円（前年同期比29.4%増）、営業利益は2億29百万円（前年同期は営業損失75百万円）、経常利益は2億54百万円（前年同期は経常損失54百万円）、四半期純利益は2億9百万円（前年同期は四半期純損失63百万円）となりました。

【シネマ事業】

シネマ部門では、「国宝」、「劇場版『鬼滅の刃』 無限城編 第一章 猪窓座再来」などの作品が大ヒットしたことにより、興行収入は好調に推移し、前年同期を大きく上回る結果となりました。

また、コンセッションも新メニューの導入やオペレーションの改善による回転率の向上などにより、売上に貢献いたしました。

主な上映作品としまして、邦画では、4月公開「#真相をお話しします」、6月公開「国宝」、8月公開の「劇場版『TOKYO MER～走る緊急救命室～南海ミッション』」、「8番出口」、11月公開の「TOKYOタクシー」、洋画では、5月公開「ミッション：インポッシブル／ファイナル・レコニング」、6月公開「リロ&スティッチ」、「F1／エフワン」、8月公開の「ジュラシック・ワールド 復活の大地」、12月公開の「アバター：ファイア－・アンド・アッシュ」、アニメでは、4月公開「名探偵コナン 隻眼の残像」、5月公開「劇場版 うたの☆プリンスさまっ♪ TABOO NIGHT XXXX」、7月公開「劇場版『鬼滅の刃』無限城編 第一章 猪窓座再来」、9月公開の「劇場版『チェンソーマン レゼ篇』」、12月公開の「ズートピア2」、ODS(映画以外のデジタルコンテンツ)では、5月公開「ミュージカル『刀剣乱舞』 十周年応援上映祭」、7月公開「韓国ミュージカル ON SCREEN『エリザベト』」、7月公開の「HYBE CINE FEST IN ASIA」、11月公開「Endless SHOCK 2024 Prologue to the Last Year」などの番組を編成いたしました。

その他、独自のイベントを企画・運営することで、劇場の活性化を進めるための文化活動も行ってまいりました。

また、飲食部門である名古屋市千種区の「覚王山カフェJi.Coo.」では、商品のリニューアルや新商品の開発を進め、商品価値の向上に努めてまいりました。

名古屋市中村区の「ミッドランドシネマ ドーナツ ファクトリー」では、店舗・映画館のコンセッションでの売上は好調に推移し、7月・8月と月間の売上記録を更新いたしました。また、映画作品とのコラボレーションも積極的に実施いたしました。

この結果、当事業では売上高は29億11百万円（前年同期比30.4%増）、セグメント利益は2億25百万円（前年同期はセグメント損失92百万円）となりました。

【アド事業】

アド部門では、営業体制の強化を図るため増員し、新規開拓営業を積極的に努めてまいりました。特に、イベントの展示ブース装飾の営業に注力し、受注に結び付けることができました。

しかしながら、原材料費の高騰や人件費の増加等の影響で、厳しい状況がありました。

この結果、当事業では売上高は2億41百万円（前年同期比12.0%増）、セグメント損失は20百万円（前年同期はセグメント利益0百万円）となりました。

【不動産賃貸事業】

不動産賃貸部門では、令和7年2月に竣工したクリニックテラス覚王山（医療モール）からの賃貸収入により、売上増となりました。

この結果、当事業では売上高は91百万円（前年同期比55.4%増）、セグメント利益は24百万円（前年同期比62.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は59億53百万円となり、前事業年度末に比べ7億47百万円の増加となりました。主な要因は流動資産の増加4億9百万円等となっております。

負債合計は、23億28百万円となり、前事業年度末に比べ3億9百万円の増加となりました。主な要因は、流動負債の増加2億48百万円等となっております。

純資産は、36億25百万円となり、前事業年度末に比べ4億38百万円の増加となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和8年3月期の業績予想につきましては、令和7年5月13日公表時から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和7年3月31日)	当第3四半期会計期間 (令和7年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	598, 253	949, 228
受取手形及び売掛金	241, 813	364, 395
有価証券	300, 000	300, 000
商品及び製品	13, 226	19, 827
原材料及び貯蔵品	5, 877	9, 394
前払費用	33, 566	32, 421
預け金	41, 144	44, 581
未収消費税等	75, 216	—
未収還付法人税等	11, 702	—
その他	23, 824	34, 148
流动資産合計	1, 344, 625	1, 753, 998
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1, 408, 841	1, 346, 820
構築物（純額）	43, 012	39, 413
機械装置及び運搬具（純額）	69, 261	61, 175
工具、器具及び備品（純額）	281, 685	243, 398
土地	695, 913	695, 913
建設仮勘定	23, 582	138, 508
有形固定資産合計	2, 522, 296	2, 525, 228
無形固定資産		
電話加入権	1, 147	1, 147
ソフトウエア	110, 457	87, 652
無形固定資産合計	111, 604	88, 800
投資その他の資産		
投資有価証券	720, 989	1, 100, 731
関係会社株式	10, 000	10, 000
差入保証金	474, 440	456, 745
長期前払費用	22, 490	18, 124
投資その他の資産合計	1, 227, 920	1, 585, 601
固定資産合計	3, 861, 821	4, 199, 630
資産合計	5, 206, 447	5, 953, 629

(単位：千円)

	前事業年度 (令和7年3月31日)	当第3四半期会計期間 (令和7年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	400, 140	493, 506
短期借入金	—	110, 000
1年内返済予定の長期借入金	34, 992	34, 992
リース債務	81, 908	78, 537
未払金	113, 484	3, 187
未払法人税等	5, 415	44, 525
未払費用	118, 123	134, 159
契約負債	58, 944	64, 983
従業員預り金	4, 941	6, 566
賞与引当金	19, 000	9, 700
その他	41, 623	146, 489
流動負債合計	878, 574	1, 126, 647
固定負債		
長期借入金	553, 346	527, 102
リース債務	167, 292	134, 444
退職給付引当金	83, 491	84, 385
長期未払金	68, 558	63, 654
資産除去債務	91, 467	92, 596
受入保証金	75, 020	75, 020
繰延税金負債	101, 287	224, 319
固定負債合計	1, 140, 463	1, 201, 522
負債合計	2, 019, 037	2, 328, 169
純資産の部		
株主資本		
資本金	270, 000	270, 000
資本剰余金		
資本準備金	13	13
資本剰余金合計	13	13
利益剰余金		
利益準備金	67, 500	67, 500
その他利益剰余金		
配当準備積立金	59, 346	27, 513
別途積立金	2, 380, 000	2, 380, 000
繰越利益剰余金	199, 075	408, 285
利益剰余金合計	2, 705, 921	2, 883, 298
自己株式	△72, 618	△72, 618
株主資本合計	2, 903, 316	3, 080, 693
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	284, 093	544, 766
評価・換算差額等合計	284, 093	544, 766
純資産合計	3, 187, 409	3, 625, 459
負債純資産合計	5, 206, 447	5, 953, 629

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)
売上高	2,507,032	3,244,618
売上原価	1,225,903	1,645,749
売上総利益	1,281,128	1,598,869
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	43,680	36,834
人件費	522,344	526,540
賞与引当金繰入額	9,635	9,700
退職給付費用	5,036	7,889
減価償却費	136,359	141,979
地代家賃	300,437	300,729
水道光熱費	64,377	68,540
修繕費	3,206	3,356
その他	271,979	273,696
販売費及び一般管理費合計	1,357,058	1,369,265
営業利益又は営業損失(△)	△75,929	229,603
営業外収益		
受取利息	2,092	3,247
受取配当金	16,618	19,500
協賛金収入	9,409	9,473
その他	4,366	3,055
営業外収益合計	32,486	35,277
営業外費用		
支払利息	1,565	5,216
長期前払費用償却	4,551	4,901
その他	4,799	461
営業外費用合計	10,916	10,579
経常利益又は経常損失(△)	△54,358	254,301
特別損失		
固定資産除却損	2,201	2,035
特別損失合計	2,201	2,035
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△56,560	252,265
法人税等	7,413	43,055
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△63,974	209,209

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間(自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期損益計算書計上額
	シネマ	アド	不動産賃貸	計		
売上高						
映画館関連	2,118,059	—	—	2,118,059	—	2,118,059
飲食店関連	114,358	—	—	114,358	—	114,358
看板製作及び広告関連	—	215,582	—	215,582	—	215,582
顧客との契約から生じる収益	2,232,417	215,582	—	2,448,000	—	2,448,000
その他の収益	—	—	59,031	59,031	—	59,031
外部顧客への売上高	2,232,417	215,582	59,031	2,507,032	—	2,507,032
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,232,417	215,582	59,031	2,507,032	—	2,507,032
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△92,055	798	15,328	△75,929	—	△75,929

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期損益計算書計上額
	シネマ	アド	不動産賃貸	計		
売上高						
映画館関連	2,779,149	—	—	2,779,149	—	2,779,149
飲食店関連	132,341	—	—	132,341	—	132,341
看板製作及び広告関連	—	241,371	—	241,371	—	241,371
顧客との契約から生じる収益	2,911,491	241,371	—	3,152,862	—	3,152,862
その他の収益	—	—	91,755	91,755	—	91,755
外部顧客への売上高	2,911,491	241,371	91,755	3,244,618	—	3,244,618
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,911,491	241,371	91,755	3,244,618	—	3,244,618
セグメント利益又は セグメント損失(△)	225,069	△20,376	24,909	229,603	—	229,603

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりです。

	前第3四半期累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)
減価償却費	149,811千円	174,415千円